

# 岐阜の文学



## 会長あいさつ

会長 今井春昭



十月十一日、ご来賓、受賞者と関係者、会員合わせて四十人の参加をいただき、第八回小島信夫文学賞の授賞式を開催することができました。今日は、惜しくも佳作として本賞受賞者となつた足利市の塚越淑行さん、知事賞に選ばれた揖斐川町春日の土岐智恵美さん、そして今回新設の岐阜市長賞の川崎市的小川悦子さんの三作品が選ばれましたが、審査に当たつた青木健副会長は、作品の一層の飛躍のためにも、今后の応募数増加を強く望むと述べています。この賞が生まれたのは、今から

「岐阜県の誇る宝物として、原点に戻る」

十六年前の平成十一年、第十四回国民文化祭・ぎふ99の開催年であります。会則には「小島信夫文学を顕彰するため、岐阜から発信して、新人作家の発掘を目指すものである。」とあり、当時の吉田会長、水谷副会長、そして今は亡き山田智彦先生や小瀬洋喜先生、山田賢二先生などのお名前を拝見することができます。会の発足に当たり、その趣旨に共感して設立に加わつていただいた法人一四人、個人八五人の皆様の貴重なご意志を忘れないためにも、吉田前会長が「濫觴」と表現された言葉の持つ意味を検証するとともに、応募作品の一層の増加を期して、新しい第一歩を踏み出したいと思います。

この会に関わつていただいているすべての皆様のご支援を心からお願い申し上げます。

小島信夫  
文学賞の会

2015.3.20  
Vol.6

## contents

### 会長あいさつ

会長 今井春昭…… 1

### あいさつ

岐阜県知事 古田 肇…… 2

### 受賞者のことば

小島信夫文学賞 佳作

塚越淑行…… 3

岐阜県知事賞 土岐智恵美…… 4

岐阜市長賞 小川悦子…… 5

顧問・役員・会員名簿…… 6

「小島信夫文学賞の会」会則 … 8

# あいさつ

岐阜県知事 古田 肇



このたび、第八回小島信夫文学賞受賞式が盛大に開催されましたことを心よりお慶び申し上げます。小島信夫文学賞佳作、岐阜県知事賞、岐阜市長賞を受賞されました皆さまにおかれましては、誠におめでとうございます。心よりお祝い申し上げますとともに、今後ますますのご活躍をお祈り申し上げます。

さて、「小島信夫文学賞」は、現代文学の最先端を切り開いてこられました、岐阜県の誇りとする芥川賞作家・小島信夫先生の文学活動を顕彰し、新人作家の発掘を目指すため、平成十一年に創設されました。八回を数える今回、全国十六都府県の皆様から七十作品に及ぶご応募をいただいたと伺っております。

民間の団体によって創設されたこの「小島信夫文学賞」が、十数年の時を経て、岐阜県から自信を持つて発信できる文学賞として着実に発展しておられることがあります。

岐阜県では「清流の国ぎふ憲章」を策定し、「清流の国ぎふ」づくりを推進しております。文化の振興はその重要な一翼を担うものであります。清流に育まれた文化を知り学び、新たに文化を創造・発信し、その文化を故郷の宝物として次の世代へ伝えることを通じ、県民の皆様が安らぎと豊かさを実感できる地域社会の実現を目指してまいりたいと考えております。

こうした折、参加を通じて皆様に広く文学に親しんでいただけます本賞は、大変意義深いものであり、「小島信夫文学賞の会」の皆様におかれましては、今後とも、本県の文化振興にお力添えを賜りますよう、お願い申し上げます。

最後になりますが、皆さまのますますのご発展をご活躍を中心より祈念いたしまして、あいさつとさせていただきます。

## 活動報告等



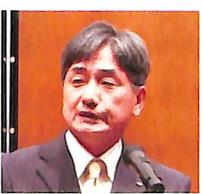
第8回  
小島信夫文学賞  
授賞式にて



岐阜県環境生活部  
次長  
新田 晃様



岐阜市市民参画部  
部長  
松久 丘様



各務原市産業活力部  
部長  
村井 清孝様



NHK岐阜放送局  
副局長  
伊藤 尚伸様

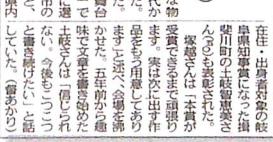


小島信夫賞  
岐阜市出身の小島信夫さん  
岐阜市長賞受賞者小川悦子さん  
土岐市議会議員小林一郎さん  
受賞式に出席する新田晃次長  
新田晃次長は「小島信夫賞は、岐  
阜の故郷の宝物として、岐阜市長賞  
が最も高い賞である」と述べた。

岐阜新聞  
2013年10月31日付掲載



中日新聞  
2014年10月12日付掲載



(公財)岐阜県教育文化財団  
理事長  
洞田 厚男様

# 第8回

## 小島信夫文学賞 発表

小島信夫文学賞 佳作

塙 越 淑行

〔緑の国の沙耶〕



### 略歴

一九四七年（昭和二二年）栃木県足利市に生まれる。  
慶應大学文学部卒業。  
まくた同人。



新しく創設された短編部門では、小川  
悦子さんの「伊左衛門の狐」に惹かれた。  
異にかかる雌狐が人間に助けられ、一  
途な恋に走る。何度も聞かされてきたよ  
うな説話風の物語が、虚構への素直な入  
り方と引き締まった言葉の拍によつて渋  
い光を発している。

本賞の方はやや低調だったが、西澤し  
のぶさんの「青空」と塙越淑行さんの「緑の  
国の沙耶」に心は傾いていた。ただし、前  
者では「私がパリで出会った女性の厚み  
のある語りが全体を乱暴に食い破る方向  
で利用されていない点に、後者では、言  
葉の壁を越えて人々の内奥を追う粘り気  
のある眼差しがアイルランドの小さな島  
の特異な自然環境を捉え切れていない点  
に、それぞれつまずくところがあった。

とはいって、塙越さんの作品には、海が  
あるのに乾いていて、乾いているのにど  
こか湿った匂いがある。この相容れない  
空気の共存に惹かれた。

選評

堀江敏幸

（到着順）

選評

### 「独特的の光」

吉増剛造

旧暦世を去ったアイルランドの詩人  
シェイマス・ヒーニー氏に『The station

**選考経過** ● 応募総数七〇篇のうち、本賞最終候補には飯田章「あしたの熱に身もほそり」、高井泉「サチュロス王～狼む～」、塙越淑行「緑の国の沙耶」、西澤しのぶ「青空」、原さつき「マイ・ウィル」、丸山修身「どぶろく天井」の六篇が残った。堀江敏幸、吉増剛造、青木健の三人の選考委員による選考の結果、塙越淑行「緑の国の沙耶」が佳作で選ばれた。岐阜在住者、出身者を対象にした岐阜県知事賞には、林正子、小島正樹、二人の選考委員が推した土岐智恵美「病み産む女」が選ばれた。また、今回新たに設けられた短編小説部門（全国公募）の岐阜市長賞は、堀江、吉増、青木の選考委員全員一致で小川悦子「伊左衛門の狐」に決まった。（敬称略）

何をするでもなくふらふらと生きてきて、三十歳のときに小説を書き始めました。以来四十年近くたち、まだ書き続けております。書くこと中心の暮らしでした。それはこれからも変わらないと思っています。死ぬその時まで書いていたい、書ける限り長生きしたいと、ちょっと大きさに、欲深く考えております。

私は追いもとめていくテーマというものはありません。何でも書きたい、それを長所にできているのか欠点になつてゐるのか、分りません。とにかく書きたいと思つたら書いてきました。すべて手探りの中、あるいはこれが私にとつて書く醍醐味かもしれません。

私は自分の作品を本にしたことはあります。その地で会つた人、聞いた話を土台にすると書きやすく、日本を舞台にして主人公を日本人で書くより自分の思いを書き込める気がします。あるいはそれは錯覚かもしれない

## 第8回 小島信夫文学賞 発表



岐阜県知事賞

土岐智恵美

〔病み産む女〕

### 略歴

一九六四年、岐阜県生まれ。中部女子短期大学卒業。  
二〇一三年より「文芸長良」同人。  
岐阜県揖斐郡揖斐川町春日在住。

小島信夫、偉大な作家の名を冠した賞をいただき、深く感謝申し上げます。

『病み産む女』は、人生における隠れた苦悩に着想し血縁と運命をテーマにした作品で登場人物、冬子、弥生、弘子は創作中の夢の中に幾度となく現れ、いろいろな角度からそれぞれの胸中を探り、考え、模索することでストーリーが膨らみ、時にはペンを走らせ時には永く沈滞した作品であります。

この作品を創作中、書くことにのめり込み体調をこわしたおぼえがあります。それは辛かつた思い出ではなく、それほど懸命になれるものを見つけられた喜びであり、創作する快感に触れた時でもありました。

『病み産む女』多くの方に批評をいただければ幸いです。

お授けいただいた賞を励みとし、これからも創作の意欲をあたためながら、こつこつ書き続けてまいります。

### 選評

「障子の薄明かり」

青木 健

今回外国を拠点とする日本人の作品に興味を持った。つまり、日本人である事が、外国でどんな意味を持つのか。

アイルランドの島を舞台とした塚越淑行さんの『緑の国』の沙耶は、他の作品より強い印象を与えた。主人公の女性の結婚と夫の死などが外国人の人間関係の中で丹念に描かれている。けれども、アイルランドの島の自然が正確に書ききれていはないと思う。

結局、本賞にはせず佳作とした。

今回から短編部門を新設し、市長賞とした。第一回目は小川悦子さんの『伊左衛門の狐』である。人間の男に惚れて、人間の娘に変身した狐の変身譚で、言葉を奪われた狐の娘の悲恋物語だ。この大人の

作であった。堀江敏幸氏の示唆もあって、この作の……(傑作『おばらばん』に象徴される……)現代人の漂流の表裏のようなのを垣間見たのかも知れなかつた。『表裏』と綴つた刹那に浮かんでいたのは、もしもこの作品が英訳されて、ダブリンやスライゴーあるいはベルファストの人々に読まれたときに生じてくるであろう独特の光であつた。これがおそらく、今回の小島信夫文学賞の光りであつたのだと思う。

『伊左衛門の狐』(小川悦子氏)も、滋味掬すべき素晴らしい作品であったのが、長いときをかけて読み込んで『緑の国』が浮かんできていた。



### 選評

「障子の薄明かり」

青木 健

今回外国を拠点とする日本人の作品に興味を持った。つまり、日本人である事が、外国でどんな意味を持つのか。

アイルランドの島を舞台とした塚越淑行さんの『緑の国』の沙耶は、他の作品より強い印象を与えた。主人公の女性の結婚と夫の死などが外国人の人間関係の中で丹念に描かれている。けれども、アイルランドの島の自然が正確に書ききれていはないと思う。

結局、本賞にはせず佳作とした。

今回から短編部門を新設し、市長賞とした。第一回目は小川悦子さんの『伊左衛門の狐』である。人間の男に惚れて、人間の娘に変身した狐の変身譚で、言葉を奪われた狐の娘の悲恋物語だ。この大人の

## 岐阜市長賞 小川悦子 『伊左衛門の狐』

為の寓話を落ち着いた筆致で描いている。障子の薄明かりに暗い光が差している。そこの所が他の作品より群を抜いて響いて来る。



### 略歴

一九三五年、福島県生まれ。  
一九五三年、東京都中野区、文園女子高校卒業。  
一九五七年、セーラー万年筆人社。  
一九八五年、セーラー出版へ出向、海外の絵本の翻訳出版に携わる。  
二〇〇八年、退職。著書・『ほどけばもの』『伊左衛門の狐』(作品社)。  
『一九五二年十七歳』(沖積舎)。訳書・ウイリアム・スタイル作『ゆうかんなアイリーン』他(セーラー出版)。「新現実」同人。



小島信夫文学賞に今回新設された短篇部門・岐阜市長賞の第一回を戴き「うれしい」という以外、言葉がみつかりません。私は一九五七年から二〇〇八年まで五十一年間の会社員生活を送りました。そのかたわら一九六二年に参加した同人雑誌活動は、ときに途切れながらも現在まで続しております。

あるとき『文学界』の同人雑誌評欄をながく担当なさった林富士馬先生に「自分の作品が一度だけ『文学界』に転載されたら本望です」と、申し上げましたら「それはきみ、間違っていますよ。文学は生きる力になればよいのです」と、返されました。以来、樂になるため、吐きだすため、



自分のために書く。書くことと生きることは一体。と思って続けてまいりました。

『伊左衛門の狐』はファンタジーの形をとつた私小説です。

じつは、若いころ小島信夫は読後感がやりきれなくて苦手でした。けれど今回読み返し、印象が変わりました。彼は「弱い男」をおどろくべき強い眼をもつて描ききっています。みんな悲惨な小説ですが、けれど悲惨の極みは「滑稽」に到り、それが救いになっている。九十一歳の遺作『残光』はもはや自由自在の境地で、思わずうれしくなりました。八十歳を目前にした自分が、この巨きな名を冠した賞を戴くことに深く感謝いたしました。



### 選評

#### 「〈血縁という宿命〉の独創性」

林 正子

土岐智美氏の『病み産む女』では、主人公・弥生の実の母「冬子」の人物設定が斬新である。女子を身ごもるたびに「血の道」による精神異常を来たし、出産後もその症状が続

くという「病」を重ねた冬子は、家族に疎まれ、嫌われ、存在そのものを否定されながら、気に懸けずにはいられない存在であり、子どもたちや親族が、自分自身のアイデンティティを追究する契機となり媒介となっている。冬子の「病」の遺伝子を自分も受け継いでいるのではないかという不安に襲われた、弥生自身の出産時の心理的肉体的苦痛と、無事に出産を成し遂げた際の、自らを産んでくれた冬子に対する感謝の念の描写が秀逸である。

人間の内面および関係性の表現が、心の襞に寄り添うように細やかであり、素朴な文章でありながら読み手を引き込まずにはおかない迫力がある。生命の連なりが、血縁という宿命、家族の繋がりとして描写されている点に、小説作品としての独創性を評価したい。

## 平成25・26年度 小島信夫文学賞の会 会員名簿

### ●法人会員

団体名	役職	代表者名	住所	電話番号
株式会社 大垣共立銀行	頭取	土屋 嶽	〒503-0887 大垣市郭町3-98	0584-74-2111
かねせん株式会社	代表取締役	野口千寿雄	〒500-8369 岐阜市敷島町3-1	058-253-1133
岐阜車体工業株式会社	代表取締役会長	星野 鉄夫	〒509-0192 各務原市鵜沼三ツ池町6-455	058-384-2161
株式会社 田 幸	代表取締役	田島 一男	〒500-8285 岐阜市南鶴5-52-1	058-271-6661
株式会社 みどり塗装工業所	代表取締役	清水 憲明	〒501-3210 関市尾太町88	0575-23-4333
株式会社 河出書房新社	代表取締役社長	小野寺 優	〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷2-32-2	03-3478-3251
株式会社 作 品 社	代表取締役	和田 肇	〒102-0072 東京都千代田区飯田橋2-7-4	03-3262-9753
株式会社 鳥 影 社	代表取締役	百瀬 精一	〒392-0012 長野県諏訪市四賀229-1	050-3532-0474
株式会社 水 声 社	代 表	鈴木 宏	〒112-0002 東京都文京区小石川2-10-1いろは館内	03-3818-6040
学校法人 篠 田 学 園	理 事 長	篠田 靖之	〒502-0006 岐阜市栗野西1-10	058-237-3601
ヨツハシ株式会社	代表取締役社長	四橋 英児	〒501-1136 岐阜市黒野南1-90	058-293-1010

### ●個人会員

氏名	氏名	氏名
今井 春昭	村山 りおん	小島 正樹
水谷 雄二	黒田 淑子	三浦 清宏
青木 健	吉住 侑子	山崎 勉
角田 茉瑳子	福井 康博	片桐 武司
篠田 靖之	高井 泉	広瀬 和孝
清水 昭男	永田 昌彦	野々垣 孝
玉井 康式	三宅 雅子	千田 佳代
水谷 三佐子	今井 明子	杉山 幹夫
四橋 昌彦	塩谷 義憲	大澤 泰一
吉村 登	長谷川 誠	端元 凉子
尾関 忠雄	石田 準一	丹羽 耕太郎
杉山 史	釤崎 雅文	渡辺 厚
増田 勝義	岡田 武司	高井 法博
印内 美和子	篠田 正男	小川 悅子
松田 悠八	曾貝 寿	鶴 陽子
林 正子	杉山 裕明	小川 恵
早川 覚	坪内 堯	青木 笠子
野澤 真弓	山田 佳孝	

(2014年10月20日現在)

## 平成 26 年度 小島信夫文学賞の会

### ●顧問・役員

※役員名については、一部暫定のものがあります。

役 職	氏 名	住 所	電 話 番 号	備 考
名誉会長	古 田 肇	岐阜市薮田南2丁目1番1号	058-272-1111	岐阜県知事
顧 問	細 江 茂 光	岐阜市神田町1丁目11番地	058-265-4141	岐阜市長
顧 問	浅 野 健 司	各務原市那加桜町1丁目69番地	058-383-1111	各務原市長
顧 問	土 屋 嶽	大垣市郭町3-98	0584-74-2000	(株)大垣共立銀行 頭取
顧 問	碓 井 洋	岐阜市今小町10	058-264-1151	(株)岐阜新聞社 代表取締役社長
顧 問	洞 田 厚 男	岐阜市薮田南5-14-53 ふれあい福寿会館第2棟9階	058-277-1139	(公財)岐阜県教育文化財團理事長
顧 問	吉 田 豊	岐阜市鏡島南4丁目3-17号	058-251-2224	県芸術文化会議 会長
顧 問	水 谷 雄 二	岐阜市長良3160-38	058-233-8481	前副会長
顧 問	三 宅 雅 子	大垣市林町7-282-1	0584-78-4573	作家、前副会長
会 長	今 井 春 昭	各務原市鵜沼羽場町6-274-10	058-384-8531	中部学院大学 経営学部長
副 会 長	青 木 健	刈谷市一ツ木町4丁目10-4 パークヒルサカイ A-101	0566-24-3776	作家・文芸評論家
副 会 長	角 田 茉 瑈 子	岐阜市金園町1-5	058-262-1527	児童文学
常任理事	篠 田 靖 之	岐阜市粟野西1丁目10	058-237-3601	(学)篠田学園 理事長
常任理事	清 水 昭 男	岐阜市上加納山4723-58	058-247-8428	山田(智)氏友人
常任理事	杉 山 史	岐阜市長良73-1	058-231-0161	鶴匠の家 すぎ山 代表社員
常任理事	玉 井 康 式	岐阜市三田洞東2丁目6-9	058-237-3553	社会福祉法人 瑞鳳会 監事
常任理事	水 谷 三 佐 子	名古屋市天白区八事山364	052-833-4461	中部ベンクラブ 副会長
理 事	片 桐 武 司	岐阜市高森町5-3	058-263-2595	岐阜済美学院 理事長
理 事	黒 田 淑 子	岐阜市長良3089-21	058-232-6360	歌 人
理 事	山 内 雄 敦	岐阜市京町2-3	058-264-4611	NHK岐阜放送局 局長
理 事	野々垣 孝	岐阜市菊地町4-25	058-273-6075	アビ(株) 会長
理 事	林 正 子	岐阜市柳戸1-1	058-293-3016	岐阜大学地域科学部教授
理 事	松 田 悠 八	東京都世田谷区玉川台2-15-7	03-3700-2974	作 家
監 事	田 中 英 俊	岐阜市如月町2-11-2	058-251-1835	田中英俊税理士事務所 税理士
事 務 局	四 橋 昌 彦	岐阜市黒野南1丁目90	058-293-1011	ヨツハシ(株) 専務
オブザーバー	副 島 雅 浩	岐阜市薮田南2丁目1番1号	058-272-1111	岐阜県文化振興課 課長
オブザーバー	中 原 吉 博	岐阜市薮田南2丁目1番1号	058-272-1111	岐阜県文化振興課 係長

### 訃報

去る平成26年7月20日、第2回受賞者の吉住侑子様が逝去されました。  
謹んでお悔やみ申し上げますとともに心よりご冥福をお祈りいたします。

### 『小島信夫文学賞』趣意書

郷土岐阜を代表する作家小島信夫氏は、敗戦後のアメリカ占領時代をえがいた「アメリカンスクール」(芥川賞受賞)で文学的スタートを切り、高度経済成長時代の家庭の崩壊をえがいた「抱擁家族」(谷崎賞受賞)で作家的地位を不動のものとしました。その後実験的手法の「別れる理由」(野間文芸賞)「美濃」などで小説形式を広げ、遺作「残像」にいたるまでつねに現代文学の最先端を切り開いてきました。

私達は、この郷土の誇りとする作家小島信夫氏の文学的貢献を顕彰すべく、「小島信夫文学賞」の準備をすすめ、平成十年の文化フォーラム「物語るということ」を機に機運も高まり「第十四回国民文化祭・ぎふ99」開催年に創設、全国公募も「第8回」を数え、広く認知される賞となりました。

『小島信夫文学賞』は、私達に現在と未来を問う新しい言葉の方法による新人作家を発掘する文学賞です。岐阜から発信して広く全国に公募し、埋もれた未知の才能にスポットを当てるべく創設したものです。

県内外のご支援をお願い申し上げる次第です。

平成二十六年四月

小島信夫文学賞の会

# 小島信夫文学賞の会・会則

## 第一章 総則

### 第一条 [名称]

本会は「小島信夫文学賞の会」という。

### 第二条 [所 在]

本会は事務所を左記おく。

### 第三条 [目的]

岐阜市黒野南一丁目九十番地  
ヨツハシ株式会社内月刊ぶらき編集室  
〔小島信夫文学賞の会〕事務局  
TEL (○五八) 二九三一一〇一  
FAX (○五八) 二九三一一〇〇八  
理事会が決定した場合は、本会は支部を設けることができる。

### 第四条 [事業]

本会は小島信夫文学賞を顕彰する為、岐阜から発信して広く全国に作品を公募し、新人作家の発掘を目指す。

### 第五条 [会員]

1、本会は前条の目的を達するために次の事業を行う。

①「小島信夫文学賞」を運営する為の資金集め、広報活動その他の実務。  
②文芸講演、公開講演などの開催、其催の編集・刊行。

③受賞作品、機関誌、会報などの刊行物及び後援。

④その他、理事会が必要と認める事業。

2、前項の②・③は適宜に行うものとする。

## 第二章 会員

### 第五条 [会員]

本会の会員は、個人会員及び法人(法人格をもたない団体を含む以下同じ)会員とする。

### 第六条 [入会資格]

個人であると法人であるとを問わず、「小島信夫文学賞」に賛同する者は誰でも、本会の会員になることができる。

### 第七条 [入会手続き]

本会に入会しようとする者は理事会が定める入会申込書に署名捺印して、年会費と共に本会の事務局に提出するものとする。この場合、法人が入会を申し込み時は、その代表者を届け出るものとする。尚、法人会員の代表者が変更したときは速やかにその

旨を届け出るものとする。

### 第八条 [会費]

会員は次のとおりの年会費を支払うものとする。

1、個人会員 一万円  
(ただし、学生は半額とする。)

2、法人会員 一口 三万円  
3、賛助会員 五千円

4、個人会員 一万円  
5、監事 二名  
6、事務局長 一名  
7、名誉会長・顧問 若干名

### 第九条 [会費の支払い時期]

本会の年会費は毎年年度の初めに支払うものとし、年度の途中で入会する時は入会申込書を提出する際、その年度の年会費を支払うものとする。

### 第十条 [会員の権利]

会員は次の権利を持つものとする。  
1、総会に出席して、各自一票の議決権を行使すること。ただし、議決権は代理人により行使することができ、また、法人会員はあらかじめ届け出た代表により議決権を行使するものとする。但し賛助会員は議決権を持たないものとする。

2、本会が刊行する刊行物の無料配布を受けること。

3、本会が主催、共催、後援する催しの案内を受け、参加すること。ただし、参加費は別途支払わなければならない。

4、会員は会計及び資産を監査し、監査の結果を総会及び理事会に報告する。

### 第十五条 [任期]

役員の任期は選任の日から二回目の定時総会の終了までとする。ただし、再任を妨げない。

役員の増員または欠員補充の為選任された役員の任期は、現存する役員の任期と同一とする。

監事は本会の会計及び資産を監査し、監査の結果を理事会に報告する。

### 第十六条 [総会]

本会は、毎年、会計年度の終了後二ヶ月以内に岐阜市内において定期総会を開催する。理事会が必要と認めた時、または会員の三分の一以上からの要求があつた時は臨時総会を開催する。

総会は会長が招集し、会員の過半数の出席により退会を勧告することができる。退会勧告を受けた後、三ヶ月を経てなお会費を支払わない時は、退会勧告の日をもつて退会したものとみなす。会員が本会の名前を著しく傷つけた時、または本会の活動に支障を生じるような行動をした時は、理事会の決議により退会を勧告することができる。

## 第三章 役員

### 第五条 [会員]

本会の会員は、個人会員及び法人(法人格をもたない団体を含む以下同じ)会員とする。

### 第六条 [入会資格]

個人であると法人であるとを問わず、「小島信夫文学賞」に賛同する者は誰でも、本会の会員になることができる。

### 第七条 [入会手続き]

本会に入会しようとする者は理事会が定める入会申込書に署名捺印して、年会費と共に本会の事務局に提出するものとする。この場合、法人が入会を申し込み時は、その代表者を届け出るものとする。

### 第八条 [会員]

1、会長 一名  
2、副会長 若干名

3、常任理事

4、理事 (うち、事務局長 一名)  
5、監事 二名  
6、事務局長 一名  
7、名誉会長・顧問 若干名

会の議決を要する。  
1、予算及び決算の承認  
2、会務運営の基本的事項の決定  
3、この会則の改正  
4、解散

### 第十三条 [選任]

理事及び監事は総会において会員の中から選出する。会長、副会長及び事務局長は、理事会の中から選出する。名誉会長及び顧問は理事会が推举する。

### 第十四条 [役員の任務]

会長は、本会を代表し、理事会の定めた方針に従い会務を総括する。

副会長は、会長を補佐し、会員に差し支えがある時は、あらかじめ定めた順序に従い、会員はあらかじめ届け出た代表により議決権を行使するものとする。但し賛助会員は議決権を持たないものとする。

副会長は、会員を補佐し、会員に差し支えがある時は、あらかじめ定めた順序に従い、会員はあらかじめ届け出た代表により議決権を行使するものとする。但し賛助会員は議決権を持たないものとする。

副会長は、会長を補佐し、会員に差し支えがある時は、あらかじめ定めた順序に従い、会員はあらかじめ届け出た代表により議決権を行使するものとする。但し賛助会員は議決権を持たないものとする。

### 第十九条 [経費]

本会の経費は、会費、寄付金その他をもつてあるものとする。

### 第二十条 [会計年度]

本会の会計年度は、毎年四月一日に始まり、翌年三月三十日に終わる。

### 第二十一条 [決算報告]

会長は、毎年度の定期総会において前年度の決算報告をするものとする。

### 第二十二条 [会員の権利]

会員は、定期総会において前年度の決算報告をするものとする。

### 第二十三条 [最初の役員の選任とその任期]

最初の役員は創立総会において選任する。

### 第二十四条 [最初の会計年度]

最初の会計年度は創立の日から翌年の二月三十日までとする。

### 第二十五条 [施行期日]

この会則は本会の創立の日から施行する。